

G2スタイヤーズS 過去10年						
脚質	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
逃げ	0- 3- 1-10/14	0.0%	21.4%	28.6%	0	154
先行	5- 3- 3-19/30	16.7%	26.7%	36.7%	122	72
中団	5- 4- 3-39/51	9.8%	17.6%	23.5%	40	51
後方	0- 0- 3-37/40	0.0%	0.0%	7.5%	0	12
上り3F	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1位	7- 1- 1- 2/11	63.6%	72.7%	81.8%	322	149
2位	1- 2- 4- 3/10	10.0%	30.0%	70.0%	39	169
3位	1- 3- 1- 8/13	7.7%	30.8%	38.5%	41	73
4~5位	1- 1- 2-14/18	5.6%	11.1%	22.2%	69	64
6位以下	0- 3- 2-78/83	0.0%	3.6%	6.0%	0	24
3位以内	9- 6- 6-13/34	26.5%	44.1%	61.8%	131	125

逃げた馬以外で上り6位以下だった場合ほぼ絶望的。

とにかくメンバー上位の上りを使えるタイプを重視したいレース。

アイアンバローズは石橋Jで逃げて2着の実績あり。

同型馬アフリカンゴールドが外枠に入り、

枠の並びとテンのスピードを考えるとアイアンバローズが逃げるチャンス。

G2ステイヤーズS 過去10年						
父の系統	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
ステイG系	2- 3- 2-19/26	7.7%	19.2%	26.9%	73	82
ディープ系	1- 2- 2-11/16	6.3%	18.8%	31.3%	78	59
キングマンボ系	1- 0- 3-11/15	6.7%	6.7%	26.7%	51	134
Tサンデー系	0- 3- 1-16/20	0.0%	15.0%	20.0%	0	38

※出走馬に該当しない系統は割愛しています

キングマンボ系の種牡馬は、その種牡馬自身が

サドラーズかトニービンの影響を受けている事が重要です。

このレースを3連覇したアルバートの

父アドマイヤドン(ミスプロ系)は母父にトニービンを持つ種牡馬でした。

今年はルーラーシップ産駒とリオンディーズ産駒が該当します。

ステイゴールド系が強いのは、ノーザンテーストの影響があるから。

ディープインパクト産駒は、母父が欧州型である事が理想的。

Tサンデー系は、母父にトニービンを持つハーツクライ一択。

G2ステイヤーズS 過去10年						
前走クラス	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
2勝	0- 0- 1- 5/ 6	0.0%	0.0%	16.7%	0	201
3勝	2- 3- 1- 22/ 28	7.1%	17.9%	21.4%	38	49
OPEN非L	2- 2- 0- 13/ 17	11.8%	23.5%	23.5%	96	52
OPEN(L)	0- 0- 1- 5/ 6	0.0%	0.0%	16.7%	0	38
G3	0- 1- 0- 8/ 9	0.0%	11.1%	11.1%	0	57
G2	5- 4- 7- 48/ 64	7.8%	14.1%	25.0%	38	47
G1	1- 0- 0- 4/ 5	20.0%	20.0%	20.0%	108	40
前走脚質	着別度数	1着数	3着内	複勝率	単回値	複回値
逃げ	1- 0- 0- 7/ 8	10.0%	3.3%	12.5%	65	22
先行	2- 1- 2-21/26	20.0%	16.7%	19.2%	68	41
中団	3- 5- 4-32/44	30.0%	40.0%	27.3%	23	77
後方	3- 4- 4-45/56	30.0%	36.7%	19.6%	33	45

- ・前走がG2の場合は、アルゼンチン共和国杯か京都大賞典。
- ・前走がOP特別の場合は、そのレースで5~9人気だった馬。
- ・前走が3勝クラスだった場合は、京都2400mか阪神3000mに出走していた馬で、掲示板を確保できていた馬。

全ての出走馬が距離延長になるレースなので、
前走で中団から後方の位置取りだった馬が、
長丁場のスローペースによって追走が楽になり、
中団よりも前で競馬が出来るようになります。

そう言った馬の方がメンバー上位の上りを使いやすくなる傾向があり、
前走で後方からの競馬になっていた馬の変わり身には注意が必要です。